



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (4月17日～5月2日)

1. 金貨価格の続落 (4月17日ケイハーン紙)

専門家は、世界的な金市場の下落を受けてイラン国内の金貨価格が続落しており、今週中にも1枚=1,200万リヤールまで下落すると予測している(注:4月13日には1,368万リヤールであったが、4月17日には1,280万リヤールに下落)。

2. 労働者の最低賃金 (4月18日付イーラーン紙)

労働・協同・社会福祉省の関係者は、本年[ヒジュラ太陽暦1392年(2013年3月21日～2014年3月20日)]における社会保険機構(SSO)の管轄下にある労働者の最低賃金は、月給629万5,500リヤールとなるだろうと述べた。

3. 昨年の非石油製品輸出額 (4月18日付イーラーン紙)

イラン税関によると、昨年[ヒジュラ太陽暦1391年(2012年3月20日～2013年3月20日)]におけるイランの非石油製品輸出額は413億米ドルで、イラク(62億5,000万米ドル)、中国(55億米ドル)、UAE(42億1,000万米ドル)、アフガニスタン(28億7,000万米ドル)、インド(26億1,000米ドル)の上位5カ国で66%を占める。一方、イランの輸入相手国は、UAE(106億1,000米ドル)、中国(81億6,000米ドル)、韓国(48億1,000米ドル)、トルコ(45億4,000億米ドル)、スイス(34億3,000米ドル)の上位5カ国で60%を占める。一昨年[ヒジュラ太陽暦1390年(2011年3月21日～2012年3月19日)]と比較して、UAEからの輸入は46%減少したが、中国(9.6%)、韓国(1.2%)、トルコ(37%)、スイス(36.8%)はいずれも増加している。

4. 公式価格と市場での販売価格 (4月20日付ハムシャフリー紙)

政府による公式価格が、数点の商品において、市場での販売価格より高値であったことが、ハムシャフリー紙の最新の市場調査によって明らかになった。イラン製の自動車価格は、20%程度、政府により発表されている公式価格の方が高い。また、肉類についても、政府系やチェーン系のスーパーでの販売価格が、一般小売店より高値であった。

**5. 中古一戸建ておよびアパート価格の上昇（4月21日ハムシャフリー紙）**

イラン統計センターによると、2012年秋と比較し、中古一戸建ての価格は82%上昇、アパートの価格は53%上昇している。

**6. 民間航空機構総裁の発言（4月21日付ハムシャフリー紙）**

イラン民間航空機構総裁は、今後、イラン国内の航空会社にて導入される航空機は、2002年以降に製造されたものに限られるだろうと述べた。

**7. 自動車部品メーカーによる会合（4月22日シャルグ紙）**

4月21日、自動車部品メーカーによる会合が行われ、約100社の部品メーカーが参加した。参加者らは一同に、自動車価格が下落し続ければ事業を継続できないと主張し、鉱工業・商業省への抗議文をまとめるよう求めた。

**8. 自動車価格に関する鉱工業・商業大臣発言（4月27日ハムシャフリー紙）**

ガザンファリー鉱工業・商業大臣は、最高競争評議会が下した新たな自動車価格に関して「この2カ月間、自動車業界は、自動車価格の下落問題で危機に瀕している。大統領の仲介を期待したい」と述べ、自身および鉱工業・商業省には責任が無いかのようにふるまっている。

**9. 昨年のインフレ率（5月2日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙）**

イラン中央銀行のバフマーニー総裁は、昨年〔ヒジュラ太陽暦1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）〕のインフレ率は30.5%、流動性率は30.8%であったと発表した。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799